

最終到達点と県本部・単組の役割

単組青年部での独自要求闘争、そして職場の課題改善 **本部青年部がめざす最終到達点**

そのために単組では

- ・職場実態点検（アンケートや生活職場実態点検手帳付け）
- ・仲間との討論
- ・職場オルグ
- ・基礎の学習会

県本部は単組の活動をサポート・点検

- ・単組の取り組み状況を確認
- ・全国の事例を各単組に共有
- ・学習会の講師派遣

単組の運動の濃淡に合わせて何を求めるのか

特に学習してほしい内容

組合の意義や必要性（組合とは？）

→ これがないとその先何も進まない

賃金や制度に関する学習（賃金論）

→ 賃金リーフや春闘ハンドブックを活用した学習

これまでの公務職場を取り巻く状況（歴史）

→ 公務員の賃金引き下げの歴史がないと怒りが生まれない

私たちの当たり前の職場とは？（権利取得やサービス残業）

→ おかしいことに気づき、当たり前の職場を取り戻す



自分の職場のおかしさに気づく

自分の職場や単組の中だけでは、おかしいことに気づけない
単組や県本部を超えた職場実態交流が必要

【地連別夏期交流集会に結集を】

昨年の中央交で職場改善の決意をした仲間が多くいる
そして集会に県内単組の実態を持ち寄ろう

- ・実行委員会体制の確立
- ・参加体制の確立

ここで決意した仲間を県本部や地連で支えよう

集会で決意はしたものの、モチベーションが上がらないことも多々...

今後の青年部を担うキーパーソンになる



最後に

これまで本部で提起はしているものの、、、 運動が広がらない
なぜやりきれないのか？

- ・やりきれない理由を深掘りして、どうしたらやれるか考えよう

→根本的な課題が見えてくる



それぞれの単組でキーパーソンやプレーヤーを1人でも多く作ろう
そして仲間を巻き込んで独自要求闘争へ